

国民に **また** 負担増

厚生労働省が医療「改悪」試案

厚生労働省はこのほど「医療制度構造改革試案」を発表。来年2006年の国会に「改悪」法案を提案し、国民に新たな負担増を押しつけようとしています。

- 1** 高齢者の医療費
 - ・ 1割負担を2割負担に（一定所得以上は2割→3割）
 - ・ すべての高齢者から保険料を徴収

- 2** 長期入院患者の食費、居住費、光熱費は
 - ・ 全額患者負担に（月3万円の負担増）

- 3** かぜ薬、ビタミン剤、低額医療などは
 - ・ 全額患者負担に

- 4** 高額療養費の
 - ・ 自己負担限度額の引き上げ



医療改悪案は撤回を **日本共産党**



日本共産党
県くらし・福祉対策責任者

あやべ澄子

国民のいのちを削る政治は絶対に許せません。「改悪」案を撤回させるために力をあわせましょう。●ムダな公共事業や軍事費の見直し ●空前の利益をあげている大企業への適正な課税 ●薬価や医療機器の高値にメスを入れる。こうした改革をおこない、本当に持続可能な医療制度を確立することこそ、政府が果たすべき責任です。

「しんぶん赤旗」をお読みください 日刊●月2,900円／日曜版●月800円

新埼玉

2005年11月号外 発行・日本共産党埼玉県委員会
さいたま市大宮区北袋町1-171-1 tel.048-658-5551

日本共産党の見解を紹介します。
fax.048-658-5656